

# 杉妻学習センターふるさと学びカレッジ 「バターライフセミナー」実施状況 第2回 館外学習

## 「にほんまつ城報館と醤油醸造協同組合ほか」

令和4年4月1日に開館した「にほんまつ情報館」を見学しました。二本松の歴史や歴代の二本松藩主、二本松少年隊などを学芸員の解説のもと、楽しく学びました。

昔の二本松城



藩主が丹羽家なので、二本松では鬼は外を「おにーそと」と言うのだとか



正面から民と向き合った二本松藩

### 養老料

1790(寛政2)年に出来た「養老法」は「養育法」と並んで、二本松藩の二大福祉事業です。赤子および90歳以上の老人には綿入を一つずつ支給し、町場から遠い無医村には医師を常駐させ、貧困者の診療費は藩が負担するものでした。こうした福祉制度の充実が、飛石路傍の精神が実際の施策となって表れたものといえます。

### 赤子養育法

現在の児童手当にあたる制度で、二本松藩では1745(延享2)年と比較的早い時期に施行され、1852(天保3)年まで数次にわたり改正され継続しました。特に1786(天明6)年の「赤子出生養育御達書」はのちの基本とされ、11歳未満の子供が2人以上いる場合、子供の数に応じて米を支給するというものでした。

現代の人口削減と、出生率の低下といった問題をやがて迎えること

今の児童手当のようなものを既に導入していました。

・二本松藩では、赤子や90歳以上の老人に綿入を、11歳未満の子供が2人以上いる場合に、子供の数に応じて米を支給したそうです。



箕輪門、懐石銘を見学し、その後昼食へ



懐石銘



小麦を  
こがポイント！  
きつね色に香ばしく  
香りと味の  
おしよ

↑メキシコ・オーストラリア産の岩塩を水で溶かしています。  
←カナダ産小麦を煎る工程  
大豆+小麦を発酵させて麴を作り、塩水をあわせてもろみを作ります。



↑熟成したもろみを絞っています。出来た物は各地の醤油製造会社へ